

実験動物個体識別用マイクロチップ

BMDS micro chip for animal Identification IPT-300

商品概要

IPT-300は、研究者の皆様が動物IDを使用する際、IDコードをプログラムして、マイクロチップにお好きなIDを付けてスキャンすることが可能です。ご好評をいただいているIPTT-300プログラム可能温度機能付きトランスポンダー（マイクロチップ）から、温度機能を使用されない研究者のご要望に応じて作られた製品、それがIPT-300です。

バッテリー無しでRead/Write可能なトランスポンダー（マイクロチップ）は、32桁のアルファベット・数字をお好きなようにプログラムすることができます。動物に、ちょっとしたミニ・データベースを転送したり、ある種の情報の研究項目や遺伝子型や研究者名、プロジェクト番号や動物の誕生日を表示したりすることができます。また、IPT-300は、“書込禁止”機能が利用でき、CRC（巡回冗長検査）送信エラー検出もできます。データは、アルゴリズムエラー訂正によって安全に守られています。痛みを無くし切開しない方法を模索し、BMDS社のトランスポンダー（マイクロチップ）は、利便性に富み、苦痛の無い、信頼できる製品になりました。直径2mm長さ14mm程のIPT-300は、埋入箇所の組織に固定され、体内移動しない（パテント取得）特徴を持ったトランスポンダー（マイクロチップ）です。研究が終わってからも、切り取った組織と一緒にトランスポンダー（マイクロチップ）を低温保存や液体保存などで保存をすれば、何十年という長期間にわたり、データを取り出すことができます。



<実物大イメージ>

<拡大イメージ>

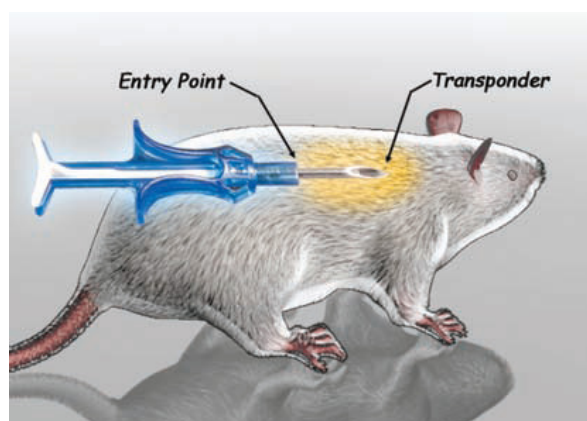
注射器の要領で、IPT-300には、使い捨て針の中にトランスポンダー（マイクロチップ）が装着されています。ハンドル部分、ステンレス針、ドライブピンが一体になった、動物に苦痛を与えない設定にしています。針状のトランスポンダーは、酸化エチレン滅菌処理を施した後、100個／組でパッケージされます。トランスポンダー（マイクロチップ）は、組立の必要もありません。箱から取り出したら、キャップを外し、埋入し、使い捨てしていただける、簡単・クリーンな製品です。

機能と特徴

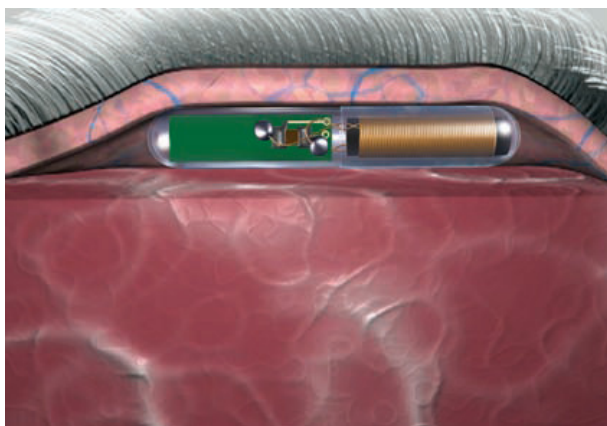
- マイクロチップに直接データ書込みができますので、動物ごとの標識は不要になります。
- 動物に埋入後でも、埋入前の針の中でもマイクロチップへのプログラム書込み可能です。
- 安全のため、お客様にて追加、編集、ロック(書込み禁止)を行うことが可能です。
- CRC(巡回冗長検査)アルゴリズムで絶対の安心をお届けします。
- バッテリ不要の受信時方式
- 生体適合性:あらゆる実験動物に適しています
- 世界各国でパテント取得:体内で移動しにくい構造
- 入力メモリ:32桁アルファベットおよび数字
- プログラム可能・読取:近接、非接触
- 低価格で最大限のプログラムが可能



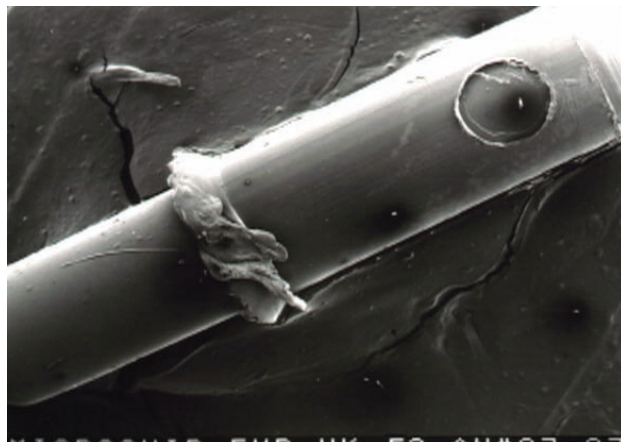
滅菌された使い捨て針にトランスポンダーが
内蔵された一体型



埋入は簡単



組織にしっかりと定着
(パテント取得:体内を移動しない方式)



生理的に無害で安全、長期に渡ってお使い頂
けます。

販売元



ユアサバイオシステムズ株式会社

〒214-0021
神奈川県川崎市多摩区宿河原1丁目1番33号
TEL : 044-930-5671
FAX : 044-930-5672
Web : <http://www.yuasabio.co.jp>

製造元

